

なぜ紹介状が必要なのか？

■紹介状って？

ある医療機関を受診していた患者さんが他の医療機関を受診する際に診療情報の受け渡しをするものです。初回受診のときに患者さんに持ってきていただくのが原則です。紹介元から当院地域医療センター病診連携室を通して診療予約を取っていただく場合には、予めFAXで診療情報を提供していただいています。

■どんな情報が受け渡しされるのか？

概ね以下のような情報です。

- ・ 紹介の目的（精査？治療？セカンドオピニオン？）
- ・ これまでの経過
- ・ これまでに行われた治療（薬や点滴など）の内容
- ・ 血液検査や画像検査のデータ

■紹介状がないとどうなるのか？

正しい診断を導くためには、患者さんの視点から見た情報と医療従事者から見た情報の双方が欠かせません。これまでに行った検査や使用した薬に関する正確な内容なども紹介状から得られる重要な情報です。また、もともとの主治医が患者さんの病態をどのように考えどのような治療を行ったのかを知らないまま新たに治療を行うことになると、効果が見られなかった治療を再び行うことになったり、もともと行われていた正しい治療を妨げることになったりする恐れもあります。

■どうすれば紹介状を書いてもらえるのか？

もともとの主治医から他の医療機関への受診を勧められた場合には、何も言わなくても大抵は紹介状を書いてもらえます。患者さん自身の希望で他の医療機関を受診しようとする場合でも、患者さん側からの申し出があれば紹介状を書いてもらえる場合が多いと思います。多くの医師は患者さんを紹介したり紹介されたりということを数多く経験しており、患者さんが心配するほど紹介することに対してさほど抵抗感を持っていません。逆に自分の知らないところで他の医療機関を受診されることのほうを不快に思うかも知れません。

（文責：近藤 猛）